

壁紙施工要領書
- セラミックチップタイプ -

【該当品番】（2013－2017WD）

LY－14762・14763

■材料、組成

- ・着色したセラミック片を表面にラミネート接着した壁紙です。（不燃認定壁紙）

■特長

- ・施工前の状態は、非常に硬い材料の印象ですが、水分を含むと軟らかくなり施工しやすくなります。
- ・折曲げに弱いところがあるため、出入隅などの施工には注意が必要です。
- ・透湿性を持った壁紙です。（アイハギ発生にはご注意ください。）

■下地調整

- ・施工後の、下地の不陸の目立ちを避けるために、下地面はできるだけ平滑に仕上げるようにしてください。
- ・ネジ、クギ類の頭には、サビ止めを施してください。（施工後の変色を防ぎます）
- ・下地と同色の樹脂入りのパテを使用してください。強度の弱いパテは、ハガレの原因になります。
- ・湿式下地（コンクリート打ち放し、モルタル等）や、パテ、シーラーを施した箇所は、十分に乾燥（水分量 11%以下）していることを確認してください。未乾燥状態での施工は、壁紙の変色、カビの発生を招くことがあります。
- ・ケイカル板、粉ふき下地、ペンキ下地、化粧板、スティールパーテーションなど、接着性の悪い下地は、必ず下地側へシーラーを塗布してください。

■接着剤

- ・接着剤は原液タイプをお薦めします。希釈タイプ使用の場合は、糊：水＝10：7 にエチレン酢ビ系ボンド 10～20%程度を目安に混合してください。（このエチレン酢ビ系のボンドを混合しますと、接着剤の乾燥が早まりアイハギの発生時間も早くなりますので注意が必要になります。）
- ・濃度の薄い接着剤は紙に吸い込まれてしまい、接着力が落ちる他に、壁紙を余計に延ばして後の目開きの原因にもなります。
- ・粘りの強い接着剤を使用すると、糊溜まりの原因になりやすいので注意してください。
- ・壁紙表面に接着剤をつけたまま放置しますと変色の原因になりますので、ただちに拭き取るようにしてください。

■養生・オープンタイム

- ・糊付け機械の使用は可能ですが、スリッターでの耳裁ちは注意が必要です。（表面のセラミック片でスリッターの刃をいためるおそれがあります。）
- ・接着剤塗布後は、うませ時間 5～10 分程度、施工可能時間 60 以内を目安に作業を進めてください。
- ・折り曲げには弱く、表面が割れることがありますので、接着剤塗布後は大きくたたみ、上積みは避けてください。

■なで付け・ジョイント

- ・ジョイント部分が目立ちやすいため、カッターの刃は薄刃のもので常に鋭利な状態で使用してください。
- ・ジョイントは重ね裁ち（ダブルカット）にて納めてください。突き付け施工では、耳裁ちの問題に加えジョイントが目立ってしまいます。重ね裁ちを行う場合は、下地まで切り込まないようにしてください。目開きの原因となります。（壁紙と下地の間に下敷きを入れる、和紙テープを張り込む、といった注意が重ね裁ちの場合は必要です。）
- ・商品表面のキズ付きを防ぐためにも、柔らかい刷毛やウレタン製のローラーを使用してください。
- ・出入隅など折曲げ部は丁寧に施工するようにしてください。ジョイント部、チリ際の納めは、しっかりと押さえ込むようにしてください。